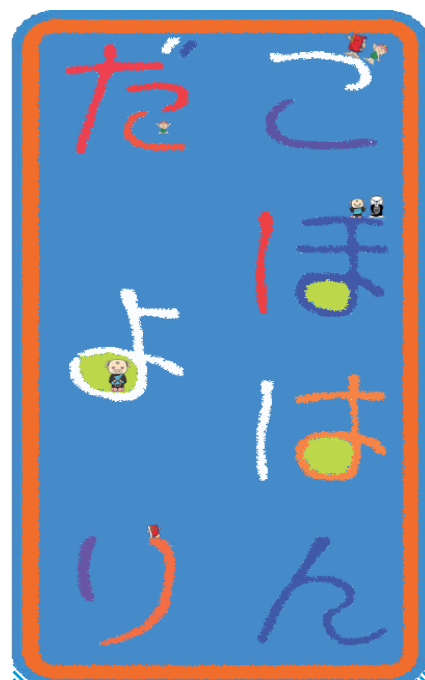


し どう き よ う え 祠堂経会厳修

二〇一三年六月三十日午前九時三十分より
七月一日午後四時まで



発行：真宗大谷派 常入寺
富山市東老田 787 番地

電話 (076) 436-0816

FAX (076) 436-2766

携帯 090-3764-3983

発行責任：青井和成

六月三十日（日）

午前の部、並びに祠堂のお勤め

午前九時三十分より

尼講のお勤め

午後二時より

午後の部

引き続き

七月一日（月）

午前の部のお勤め

午前九時三十分より

午後の部のお勤め

午後二時より



※三十日は尼講による昼食の振る舞いがございます。

それぞれのお勤めのあとに法話があります。

（午前の部十二時頃、午後の部四時頃終了予定です）

法話は、30日は当寺住職、

1日は笹山浄範師（射水市 浄信寺住職）

がお話しいたします。

皆さんといっしょにお念仏のみ教えを聴聞いたしたい
と思っています。

ご近所の方々をお誘いの上お参りください。
お待ちいたしております。

2012年活動報告

夏休み!高岡であそぼう!

期 間 2012年8月19日(日)～23日(木)4泊5日
会 場 とやま・ふくおか家族旅行村及び教区内5カ寺
 (とやま・ふくおか家族旅行村2泊3日、寺院ホームステイ2泊3日)
参 加 者 数 福島県在住の親子17名(子ども14名・保護者3名)

高岡教区では、“福島の子どもたちに、放射能を心配せず自由に外で遊んでもらいたい!”という願いのもと、去る8月19日～23日の4泊5日、「夏休み!高岡であそぼう!」と題し、福島県の親子17名を迎えて保養事業を開催しました。

参加した子どもたちは、田んぼに囲まれた大自然のプールでの「かるた大会」、満天の星空の下でのキャンプファイヤーに加え、各ホームステイ先でも、海水浴や登山、さらには世界遺産の五箇山で合掌造り集落を散策したりと、体を目一杯動かして遊びました。そして、お腹を空かした後は、カレーやバーベキューを小さな口いっぱいには頬張って、はじけんばかりの笑顔をたくさん見せてくれました。

今後も微力ながら、未来ある子どもたちを放射能の脅威から守ることに、教区を挙げて継続して支援を行ってまいります。



自転車です山を満喫と駆け抜ける!



立山富士山

富山の自然の中、
思いっきり体を
動かして
遊びました。



ローラーブレードって楽しい...

●参加者及び
保護者の声 (一部抜粋)

原 発事故以来、放射能の影響で、いろいろと制限された生活をしています。普通に生活しているようで、子どもなりにストレスを感じているようでした。今回、このような機会に参加させていただき、のびのびと放射能を気にせず遊んでくれたことに感謝します。また、来年ありましたら、もっと周りの子と一緒に参加したいと思っています。本当にありがとうございました。



流しそうめん
つかまえた!

地元の方からのアイスクリームの
差し入れを頂いて

5 日間大変お世話になりました! 真っ黒に日焼けして頼もしい姿で帰って来ました! たくさんの野菜やお米まで! ありがとうございます。富山での楽しい夏休みの思い出は息子の大切な宝物になったようです。目をキラキラさせながら土産話をする姿を見ていると私達まで幸せな気持ちになりました。今回の企画に携わっていただいた多くの方々に感謝申し上げます。素晴らしい夏休みをありがとうございました!



上手にお洗濯つくったかな?



大自然の中のプール

夜の散策では
満点の星空に
子供達の歓声が...

お朝事の様子
みんな、元気な顔です。●ホームステイ
受入寺院の声 (一部抜粋)

受 け入れるこちら側の意識の持ち方や、共に考えていくという思いを、我が身に引き当てることができ、家族は勿論のこと、まわりのいろんな人々(子ども会の小さなお友達たち)に、これからのことを一緒に考え他者に思いを馳せるという、わずかながらでもそのきっかけとなりました。

支援金ご協力のお願い

左記の通り住職をはじめとする主に大谷派の僧侶の有志により福島県在住で放射能を気になさっておられる子どもや親御さんたちの一時保養を昨年人に引き続き計画いたします。

何せ往復のバス代、宿泊費など多額の費用が必要です。本年も有縁の方々に金銭面の協力をお願いしています。金額は特に問いません。当寺祠堂経中本堂に支援金箱をもうけます。また平生のお参りの時お渡しくださっても結構です。どうぞ趣旨にご賛同いただき支援金のご協力をよろしくお願いいたします。

常入寺住職 青井和成

「第2回 夏休み!高岡であそぼう!」事業に伴う支援金の御願い

昨年は皆様方のご理解ご協力頂きましたことにより「第1回 夏休み!高岡であそぼう!」は無事行うことが出来ました。ありがとうございました。

私たちは本年も引き続き下記のとおり原発事故に伴う福島の子どもの達の保養事業として「第2回 夏休み!高岡であそぼう!」を計画いたしております。皆様方には支援金のご協力を今回も頂ければ幸いです。

何事にもお入り用の折込額であります。何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支援金は高岡教務所までお持ち頂くか、お電話をいただければ後日実行委員会連絡を取ってから伺わせて頂きます。

「第2回 夏休み!であそぼう!」実行委員会
委員長 青井和成

<「第2回 夏休み!高岡であそぼう!」開催要項>

開催趣旨

昨年に引き続き「福島の子ども達に放射能を心配せず自由に遊んでもらいたい」という願いのもと、当高岡教区としても、福島の子ども達を放射能から守る活動の一端を担うべく、「第2回 夏休み!高岡であそぼう!」を開催する

主催

「第2回 夏休み!高岡であそぼう!」実行委員会
(委員長: 真宗大谷派高岡教区副住持 青井和成 委員: 主に真宗大谷派高岡教区内僧侶)

開催日程

2013年8月4日(日)～8日(木)

開催日概要

8月4日 午後4時頃バスにて高岡に到着 その後教区内寺院もしくは宿泊施設にて宿泊
5日 午前 レクリエーション 午後ホームステイ先へ移動、宿泊
6日 ホームステイ先にて滞在、宿泊
7日 高岡教区「子どもの集い」(開催場所: 五箇山合掌の里)へ参加
8日 午前 子どもの集い参加 午後 バスにて福島に帰る

対象

福島県に在住する小学1年生から小学6年生およびその家族(小学3年生以下の場合は保護者同伴)

対象人数

20名

費用

100万円(往復バス代、宿泊費用、「集い」参加費、食費、その他)
費用については有縁の方々に支援金を募り募る

ホームステイ先

大谷派高岡教区内寺院に募る

事務局

高岡市丸の内2-15 真宗大谷派高岡教務所内 TEL0766-22-0464

祠堂について

お寺に寄付をすることを祠堂といいます。どうも祠堂銭という言い方を以前はしていたようです。身内が亡くなられたことを縁としてお寺に祠堂されることが多いです。いつ祠堂すればよいのですかと聞かれることがあります。寄付ですので、しなければいけないことありませんし、いつということも決まっています。思い立ったときお寺にお持ちいただければよろしいです。また金額もお気持ちをお入れください。多い少ないということはありません。祠堂しようというお気持ちがお寺にとってこの上ない喜びです。

常入寺では祠堂を頂いた方々に祠堂のお勤めを祠堂経会の初日にまとめてさせていただいています。今年の祠堂経会の時にとと思われるのでしたら出来るだけ早くお申し込みください。準備の都合等がございますので、祠堂経会の当日祠堂いただいてもお勤めできないこともございます事ご了承ください。